

## 令和5年度の重点課題

○ 新体力テストの総合評価のAB率 33.6%、DE率30%である。（(AB-DE)3.6%）

○ 男子

・「上体起こし」、「反復横跳び」、「50m走」において県平均かつ全国平均値より低い。  
・運動やスポーツが嫌い、やや嫌いとする児童の割合が12.0%である。

○ 女子

・「上体起こし」、「反復横跳び」において県平均かつ全国平均値より低い。  
・運動やスポーツが嫌い、やや嫌いとする児童の割合が17.5%である。

上記の課題を受けて具体的に  
取り組んだ事項

○ 走力を高める動きを取り入れた「下小トレーニング」を設定し、体育の授業前に継続して行った。

○ 体育の授業や各体育的行事において、記録や体力向上のために児童に自己目標を設定させ、学年に応じたワークシートを用意することにより児童がその目標を意識できるようにしたり、改善策を考えたりした。

○ 体育委員会の児童と連携し、教室空っぽデーや運動朝会などの機会を利用して、全校児童が楽しく体を動かす機会を作った。

○ 原則月に1回運動朝会を設けて、下小トレーニングのポイントを伝えたり、その時期に合わせた運動のポイントや

## 令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

| 男子   | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横跳び | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅跳び  | ボール投げ | 体力合計点 | 女子   | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横跳び | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅跳び  | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|
| 第5学年 | 16.67 | 16.67 | 34.67 | 42.96 | 33.69     | 9.79 | 148.89 | 22.92 | 50.67 | 第5学年 | 17.31 | 18.07 | 40.46 | 39.24 | 33.19     | 9.76 | 144.75 | 14.38 | 55.11 |

県平均値かつ全国平均値未満

## 令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

| 男子   | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横跳び | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅跳び  | ボール投げ | 体力合計点 | 女子   | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横跳び | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅跳び  | ボール投げ | 体力合計点 |
|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|
| 第5学年 | 16.67 | 16.67 | 34.67 | 42.96 | 33.69     | 9.79 | 148.89 | 22.92 | 50.67 | 第5学年 | 17.31 | 18.07 | 40.46 | 39.24 | 33.19     | 9.76 | 144.75 | 14.38 | 55.11 |

県平均値かつ全国平均値未満

## 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

| 男子   | 好き    | やや好き  | やや嫌い | 嫌い   | 女子   | 好き    | やや好き  | やや嫌い | 嫌い    |
|------|-------|-------|------|------|------|-------|-------|------|-------|
| 第5学年 | 66.67 | 25.93 | 7.41 | 0.00 | 第5学年 | 53.33 | 33.33 | 0.00 | 13.33 |

## 学校独自の意識調査

○ 学校生活の中で自分から進んで運動をしている児童の割合は78%であった。

## 重点課題

## 情意面での課題

- 男子
  - ・運動やスポーツがやや嫌いとする児童の割合が7.41%である。
- 女子
  - ・運動やスポーツが嫌いとする児童の割合が13.33%である。

## 体力面での課題

- 男子
  - ・「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「立ち幅跳び」において、県平均かつ全国平均より低い。
- 女子
  - ・「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「反復横跳び」、「立ち幅跳び」において、県平均かつ全国平均より低い。
- 全体
  - ・1日の活動時間が30分未満の児童が約34%いる。

## 重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

## 体育の授業で行う取組内容

- 引き続き、走力を高める動きを取り入れた「下小トレーニング」を体育の授業前に行う。
- 体育の授業や各体育的行事において、学年に応じたワークシートを用意し、記録や体力向上のために児童に自己目標を設定させることにより児童がその目標を意識できるようにする。
- 運動量を確保し、体を動かす楽しさを実感できる授業づくりをする。
- 授業の冒頭で各学年に応じた持久力を高める運動を行う。
  - ・3分間走
  - ・短い距離(50m)のダッシュ

## 体育の授業以外で行う取組内容

- 児童が安心・安全に遊ぶことができるように、運動場の使い方を計画的に割り振りして、外遊びを推奨する。また、各学年、週に1度「教室空っぽデー」を設け、外で遊ぶ機会を作る。
- 原則月に1回運動朝会を設ける。
  - ・体育委員会の児童が作成した運動のポイントを伝える動画を各クラスで視聴する。
  - ・全校児童で体育館に集まり、体を動かす。

令和7年度の  
重点目標値

- 運動やスポーツが嫌い、やや嫌いとする児童を減らす。(男子5%、女子10%)
- 新体力テストの(AB-DE)率を10%にする。(本年3.9%)
- 「50m走」、「20mシャトルラン」の種目において、県平均値及び全国平均値を上回る。